

5年「Lタイム」の取り組み

2009.1.17 北見市立上常呂小学校 佐藤 文昭

1. はじめに

5年総合=Lタイム「水を取りまく環境」について報告します。

2. 実践の概略

昨年に引き続き今年度もまた5年担任となり、同じテーマで総合学習を行うことになりました。昨年度の5年総合=Lタイム「水を取りまく環境」では、単元の中に断水アンケートをもとにした調べ活動を入れて、活動してきました。今年は、例年行っている河川のパックテスト、川遊び、個人のテーマを基にした調べ活動のほかに、まとめとして世界の水や仮想水（バーチャルウォーター）について考える時間を設けました。



例年の活動

- ① パックテストでは、意外と川の水が汚れていること、森林の川の源頭近くの水はきれいであること、水道の水はやはりきれいで安全であることなどが、子どもたちの調査からもわかりました。
- ② 川遊びでは中州にある石集めを始め、深さ・流れの速さを調べる者、川の生き物を探す者など、それぞれに計画を立て、活動をしていました。夏場天気が悪く（大雨のあとからと晴れても増水のため川に入ることができない）活動は9月に入ってからとなりました。
- ③ 個々の調べ活動では以下のようなテーマでそれぞれ調べていました。

川の深さ 地球と水 川と湖の透明度ランキング 水の種類
飲み水について 川の生物 川の遊び わき水はどこから来る？
なぜ水が汚れる？ 川の流れ（速さ・強さ・温度 調べ）

世界の水と仮想水（まとめ）

5年の前期、社会では農業について学習し、日本の食糧自給率が約40%であること、多くの食料を海外から輸入していることを学習しました。世界の気候変動や人口増・バイオエネルギー問題などで、世界的な食料についての問題が注目される中、また国内的には安全な食についていろいろと報道される中、水とこれらの問題を結びつけて考えてもらおうと、世界の水とバーチャルウォーターについて取り上げてみました。いままでの活動で水の汚れ、水の大切さについていろいろと考えてきた子どもたちです。最後に水を通して私たちの生活と世界がつながっていることを意識させ、水の問題をいろいろな角度からとらえ考えられるきっかけにしてほしいと思いました。



3. 児童の感想



- ・ 水不足の国を調べてみたい。
- ・ 人間が使える水はすごい少ないということにびっくりした。
- ・ 水が汚れたらどんなことが起きるのか調べてみたい。
- ・ 戦争を起こさないためにも水を大切にしないといけない。
- ・ 無駄に使うと水不足になる。私は水不足で死にたくない。

ない。・・・など

4. 最後に

パックテストを始め、小学生には少し難しい内容かとも思いましたが、意外に子どもたちはグループごとに協力し、その結果をしっかりと記録し分析していました。「私たちの住むこの町の川はきれいなのだろうか。私たちの飲むこの水道水は安全なのだろうか。」という、自分たちの生活や命に直接関わってくる問題であり興味がある事だったようです。

世界の水に関しては、人間が自由に使える水の割合があまりにも小さいことに驚く児童がほとんどでした。また生活用水よりも農業にたくさんの水を使うことをはじめて知った子がほとんどでした。バーチャルウォーターに関してはこれらのインパクトの陰になってしまった格好ですが、時間をかけて（世界の農産物の輸出入とバーチャルウォーターとの関係・農業分野における水の問題などについても触れながら）学習を進めていくと、さらに深く水について考えを深められると思いました。

